

国土交通省政策会議（第14回）議事要旨

1. 日時 平成22年2月23日（火）8：00～8：45

2. 場所 衆議院第二議員会館 第4会議室

3. 出席者

【国土交通省】長安豊大臣政務官、三日月大造大臣政務官、藤本祐司大臣政務官

4. 議題

・通常国会提出予定法律案について

5. 議事要旨

（1）挨拶

（2）議事要旨

○配付資料に沿って説明

○質疑

（3）出席議員からの主な意見

【通常国会提出予定法律案について】

○国際海陸一貫運送コンテナの自動車運送の安全確保に関する法律案

- ・ 第23条の国の援助の規定について、重量計を国の予算で整備するとのことであるが、その予算規模はどのくらいか。また、国交省では現在スーパー中樞港湾ということで選択と集中を行おうとしている中で、65港の国際貨物コンテナ取扱港すべてについて同じように重量計を設置していくのか、それとも選択と集中で行っていくのか。
- ・ 一般の公道を走っているコンテナ輸送の中で、国際海陸一貫運送コンテナはどのくらいを占めているのか、データがあれば教えていただきたい。また、資料にある事故件数は、国際海陸一貫運送コンテナのものか。
- ・ 輸出者から得た情報と実際の重量が明らかに違う場合、具体的にどのように対処するのか教えていただきたい。
- ・ 事故データを見ると、4～5年前からあまり変わっていない。昔から事故があるようだが、これまでなぜ対策を講じなかったのか、なぜ今のタイミングで法制化するのか。

- ・ 国際競争力にかかわる重要な問題になると思う。コストダウンのためコンテナの隙間に荷物を入れる隙間業者もいる。情報をどの段階で取るのか、厳しくすればするほど国際競争力に負荷がかかる。バランスを取って様々な角度から意見を聴取することが必要である。
- ・ 国際ルール制定への働きかけも非常に重要であり、強調すべき。
- ・ 諸外国でも同様の取組みをしているのか。
- ・ 日本の狭い地形や道路事情から考えれば当然必要な法律。しかしながら、競争力を下げる政策を取るのであれば、どこかで上げる政策を取り、総合的にバランスを考えることが必要。例えば、コンテナ車等を高速道路無料化の対象とし、コストを下げる方法もあるのではないか。
- ・ コンテナが大型化していくと、道路の強度や構造的な問題から、ある程度制限することも必要ではないか。

～以 上～